

松山市における光ファイバを 活用したブロードバンド整備

松山市の新たな挑戦！！

e-まちづくり戦略

2004.7.7

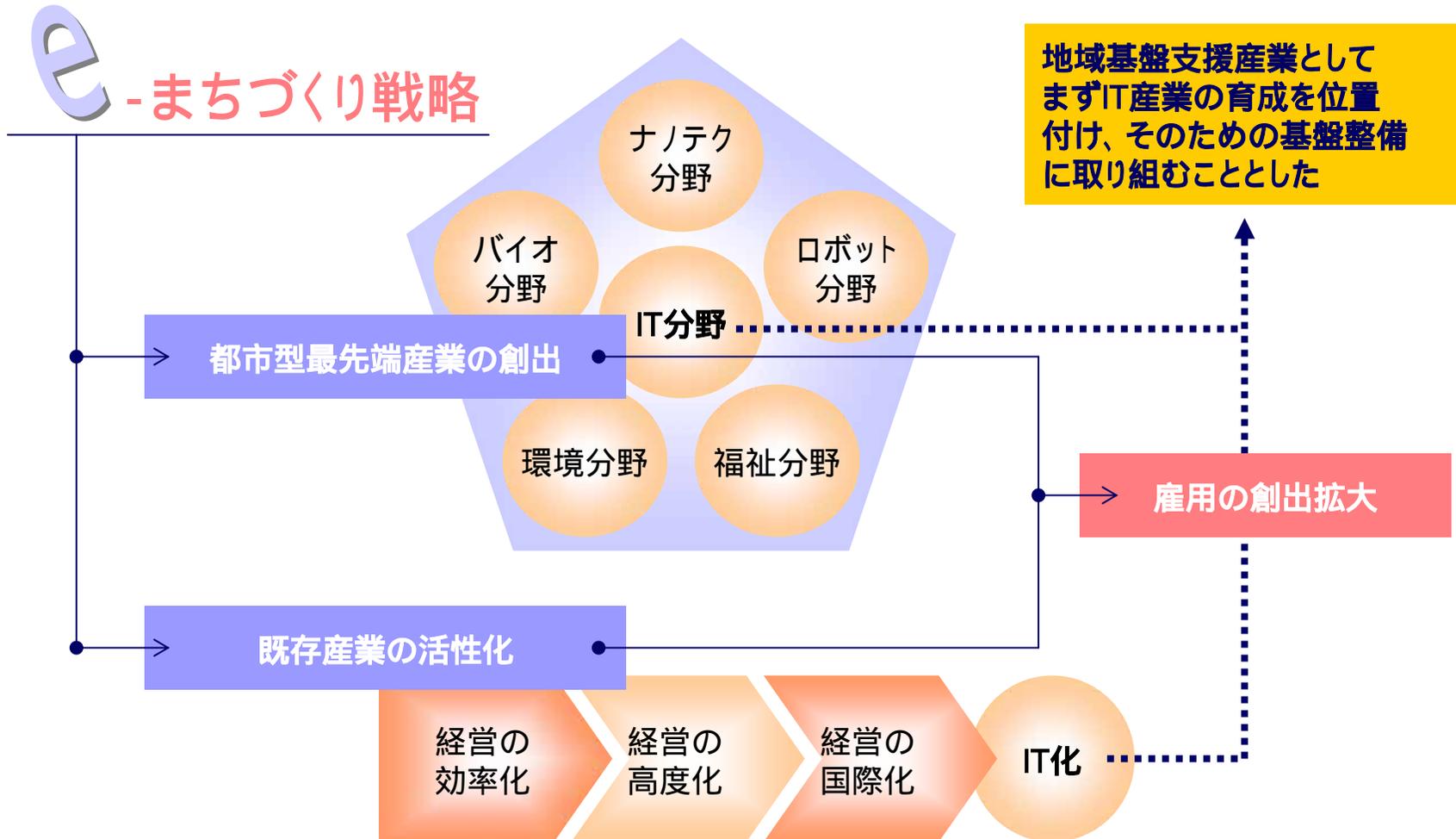
松山市 産業経済部 地域経済課

課長 竹村 奉文

e-mail:tomtake@city.matsuyama.ehime.jp

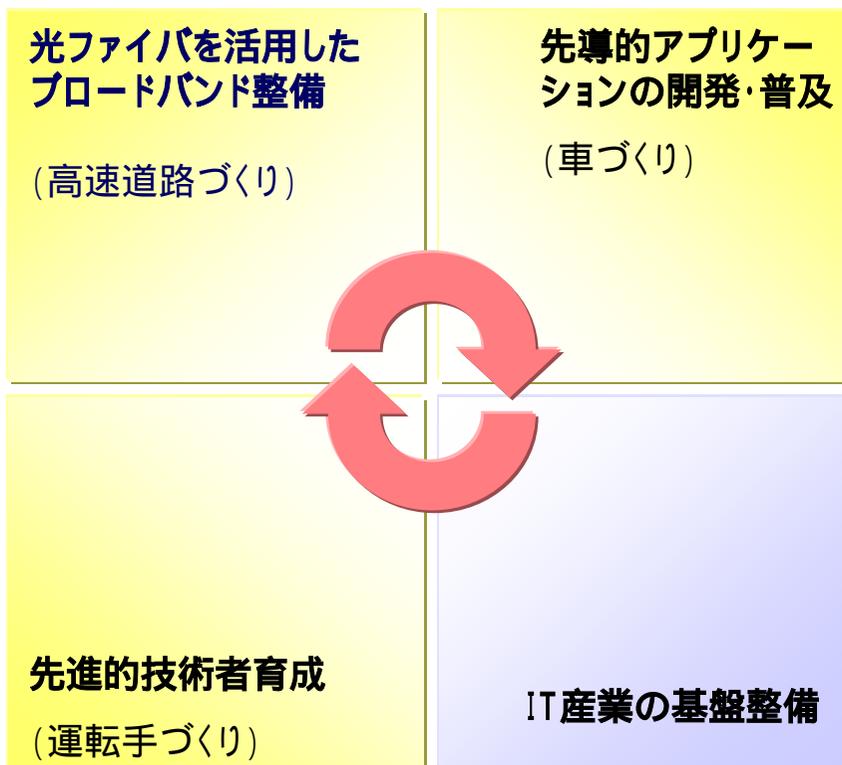
地域経済の発展という視点からのブロードバンド整備

松山市では、平成14年3月に「e-まちづくり戦略（松山市産業ビジョン）」を策定し、新産業の創出や既存産業の活性化を目指すことで雇用の創出拡大につなげていくこととした。そして、その中で企業経営のIT化やそれを支えるためのIT産業の基盤整備を最優先に行うこととした。



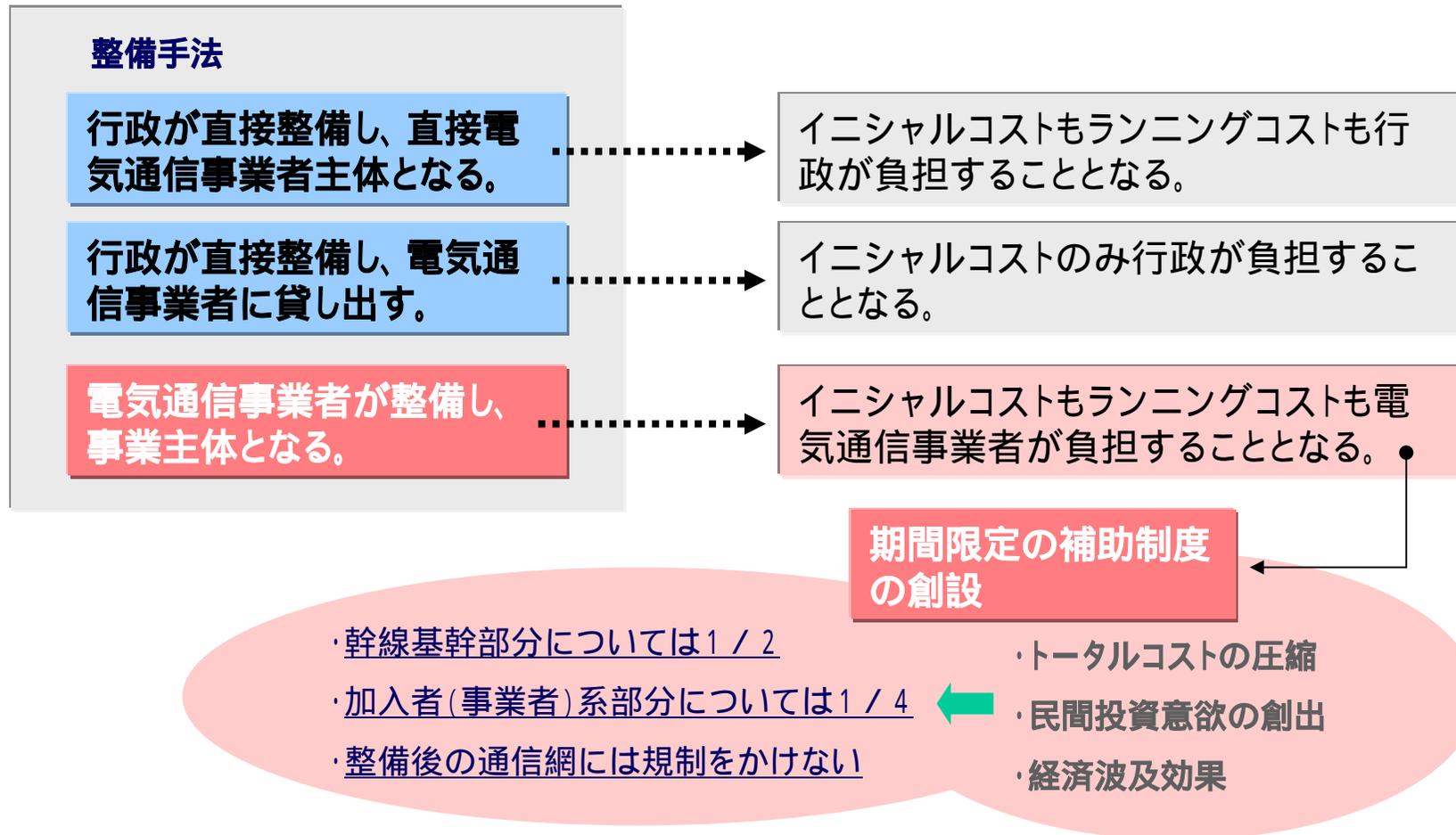
IT産業を整備するための課題

IT産業を整備するためには次のようなテーマを同時進行的に整備する必要性を感じたが、ブロードバンドという高速道路整備については、民間主導となると事業採算性ということが壁になった。つまり民設民営では採算性の高いところから整備し始めることから、中核市レベルでは首都圏と比べると3～5年整備が遅れ、これによる地域経済に与える影響は大きいと考えた。



効果的な整備手法とは

通信網の整備方法についてはさまざまな手法が考えられたが、短時間で整備できて、なおかつ利用者サービスが向上する方法を考えると民設民営が最善策と考えた。しかしながら、そのためには行政が契機づくりを行う必要性を痛感するとともに、整備後についても、行政が民間と一体となった情報流通促進策についてともに取り組む姿勢がなければ民間を動かすことが難しいということが見えてきた。

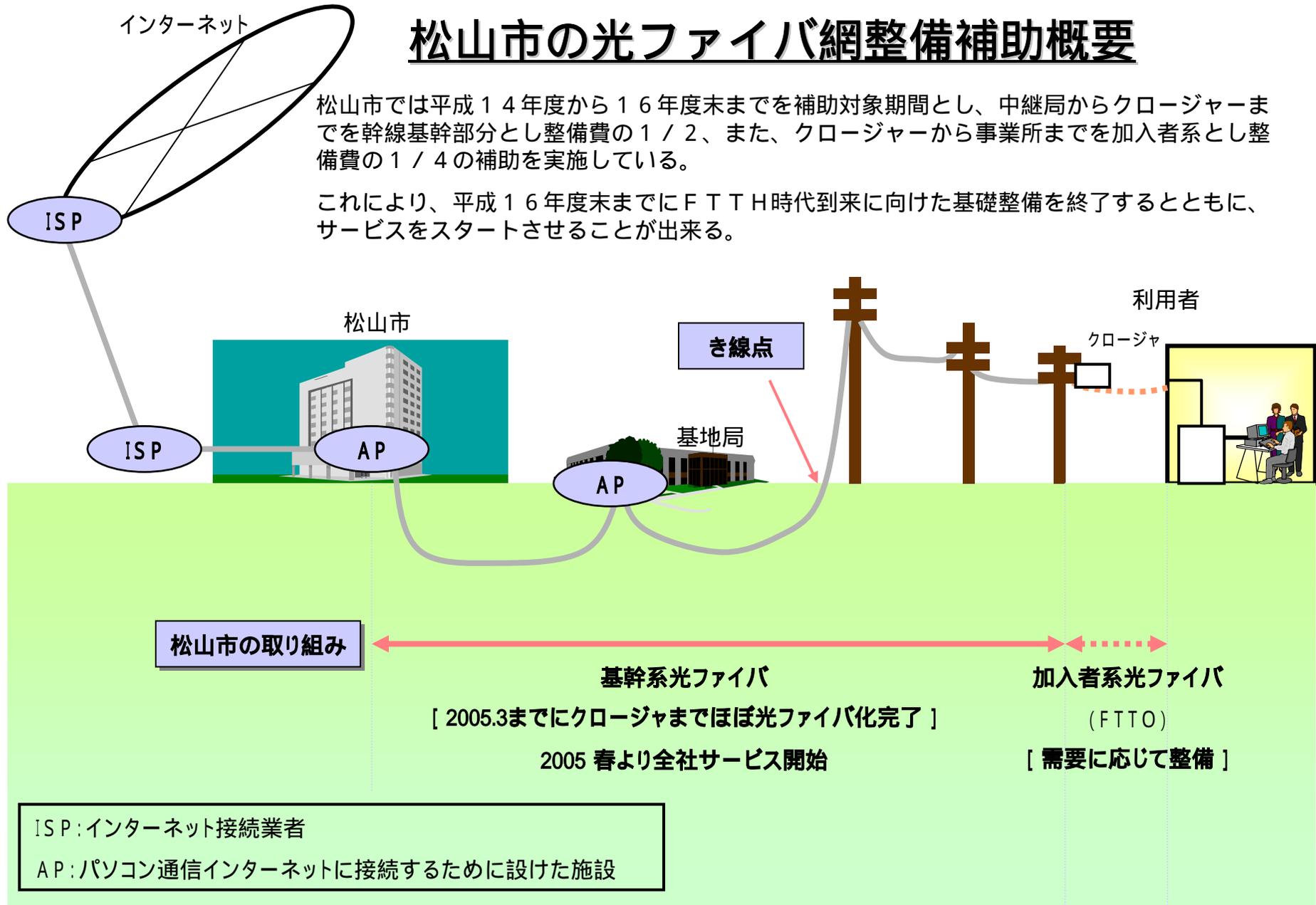


インターネット

松山市の光ファイバ網整備補助概要

松山市では平成14年度から16年度末までを補助対象期間とし、中継局からクロージャまでを幹線基幹部分とし整備費の1/2、また、クロージャから事業所までを加入者系とし整備費の1/4の補助を実施している。

これにより、平成16年度末までにF T T H時代到来に向けた基礎整備を終了するとともに、サービスをスタートさせることができる。



松山市のブロードバンド網の現状

合併予定の中島町については、本島のみ民間事業者が整備したADSLがある。他の島々についてはADSLは整備されていない。

合併予定の北条市については、民間事業者が整備したADSLがある。

松山市と中島町は民間事業者の無線設備で結ばれているがこれ以上の負荷がかけられない状況である。また、民間事業者による新たなバックボーン整備は望めない。

興居島島内については、民間事業者が整備したADSLがある。

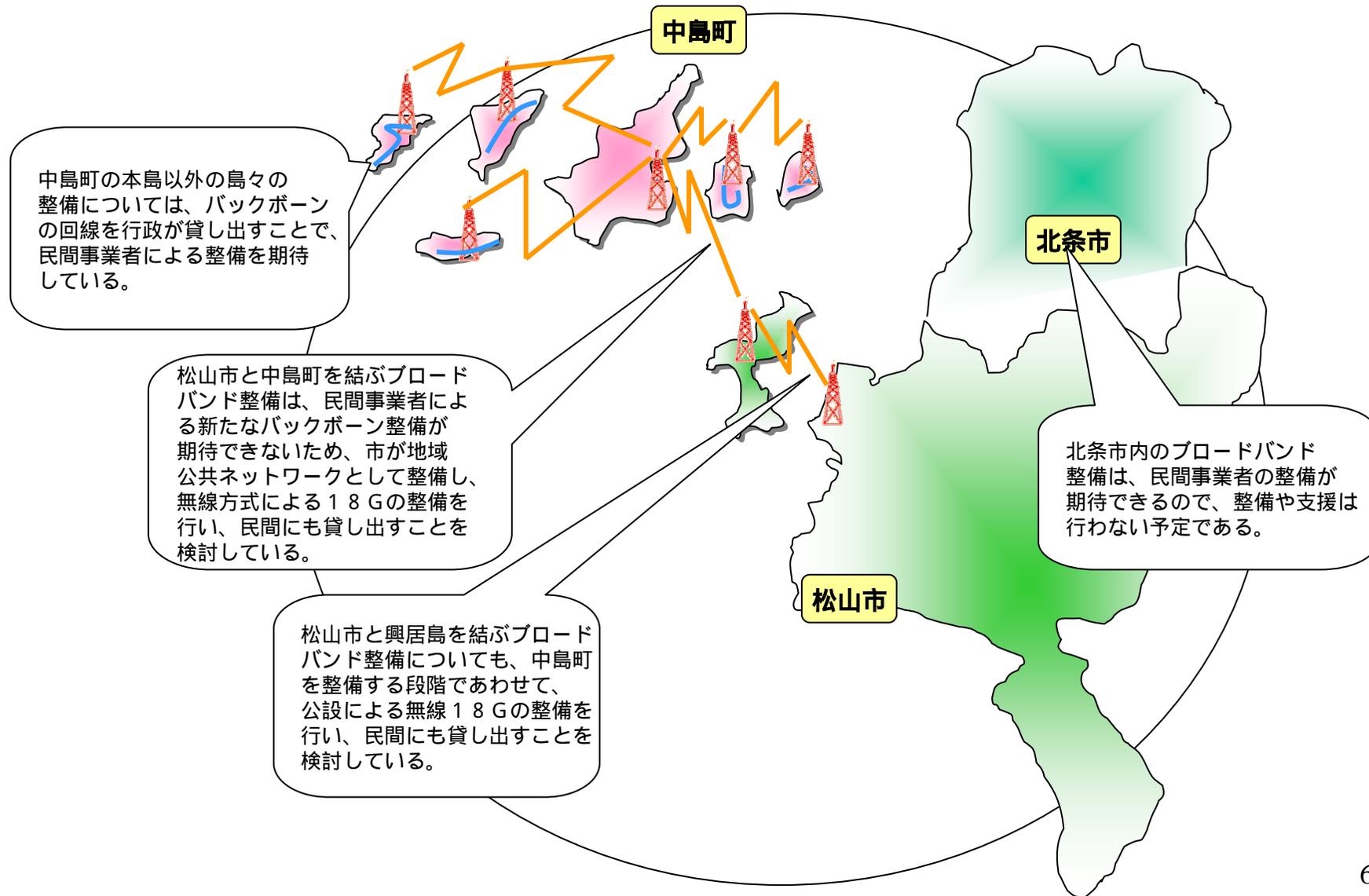
松山市と興居島は民間事業者の海中ケーブルで結ばれているが、これ以上の負荷がかけられない状況である。また、今のところ民間事業者は新たな整備を行う予定はない。

松山市では平成14年度から光ファイバを活用したブロードバンド整備支援を行っており、平成16年度末までには興居島を除く市内全域で、電気通信事業者三社による光サービスがスタートする。

CATV網についてはCATVとNTT西日本との間で業務提携を結ぶことができたため、NTT西日本のダークファイバを活用したバックボーン整備が短時間で終わった。

- NTT西日本 / 光ファイバ
- ST-Net(四電系) / "
- - - - 愛媛CATV / "

松山市のブロードバンド網の整備方針



ブロードバンド網を活用した中島町の産業振興

松山市ではITビジネスモデル地区構想の中で、公共性の高いアプリケーションを活用したビジネスモデル実験を行おうとしており、スウェーデン方式の在宅介護支援を遠隔で行ったり、平成14年度から厚生労働省と行ってきた在宅就労実験のノウハウを活用したサテライト・オフィスへの発展も考えられる。

